

基本施策 A 2 まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます

主管課：景観推進室

個別施策

A2-1 地域の景観や自然など個性を活かしたまちづくりを推進します

A2-2 まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちなかをつくります

ア 施策の目的

市域全体が、まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている

イ 基本施策の評価

D d 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
日頃、「まちづくり」等の活動や運動に参加している市民の割合	39.7% (26年度)	↑	目標値	43.1	44.8	46.5	48.2	50.0	50.0
			実績値	30.3	31.4	30.7	33.6	35.4	36.0
			達成率	70.3%	70.1%	66.0%	69.7%	70.8%	72.0%
【補助代替指標】 長崎の街並みや景観に誇りを感じる市民の割合【A2-1から再掲】	83.1% (26年度)	↑	目標値	84.6	85.4	86.1	86.9	87.6	88.7
			実績値	83.6	82.3	87.0	88.0	89.0	87.5
			達成率	98.8%	96.4%	101.0%	101.3%	101.6%	98.6%
【補助代替指標】 「自然やまちの景観」に関する観光客の満足度【A2-1から再掲】	83.8% (25年度)	↑	目標値	86.5	87.3	88.2	89.1	90.0	90.0
			実績値	96.6	84.8	96.9	90.5	89.7%	81.6
			達成率	111.7%	97.1%	109.9%	101.6%	99.7%	90.7%
【補助代替指標】 まちぶらプロジェクト認定件数【A2-2から再掲】	0件 (25年度)	↑	目標値	40	50	60	70	80	90
			実績値	40	51	62	68	80	89
			達成率	100.0%	102.0%	103.3%	97.1%	100.0%	98.9%

エ 評価結果の妥当性

本部会での議論を踏まえて考えると、評価結果については妥当であると判断する。

オ 審議会における政策評価に対する意見

- (1) まちぶらプロジェクトについて、まちなかへのさらなる人流の誘導を図るために、まちなか軸の回遊性向上の取組みが非常に重要であると思うが、まちぶらプロジェクトの施策を測る指標は、まちぶらプロジェクトの認定件数となっている。実際は観光客数やまちを歩く人たちが増えてもらわないと困るので、目標設定について再検討してはどうか。
- (2) 地域おこし協力隊について、問題点とその要因にも記載されているとおり、隊員活動を行いながら、任期終了後の定住・起業に向けた準備を行うことが難しい状況である。このようななか、今後の取組方針において、「地域の個性を活かしたまちづくりを推進するため、地域コミュニティ連絡協議会など地域の団体と連携し、地域おこし協力隊員の活動を積極的にサポートするとともに、隊員の定住・起業に向けた支援を図る」と記載されているが、隊員に対する地域活動の支援と定住支援は別の目的であるにも関わらず、一つの文章にまとめられて何を行うかがわかりにくいので、表現を見直していただきたい。
- (3) 「地域おこし協力隊のサポート」と記載されているが、文面だけでは、地域おこし協力隊に外注しますとも読めてしまう。地元縁がない中、新たに赴任してきてできることは限られているので、長崎市の職員や地域住民と連携していくという趣旨の表現に見直していただきたい。

カ 審議会における施策推進に向けた提案

- (1) 定住・起業に向けた支援について、周辺部のアイデンティティとして、農業や漁業が豊かな土地であるというのが大きいものとしてあるので、移住を検討している方に対して、県や農協、漁協と連携し、新規就業に対する支援に取り組んでいただきたい。